

「未来をひらき、たくましく生きる力を育む教育」

# 南部っ子



谷地南部小 学校便り  
R 4. 5. 25  
NO 2  
校長 小山田 聡

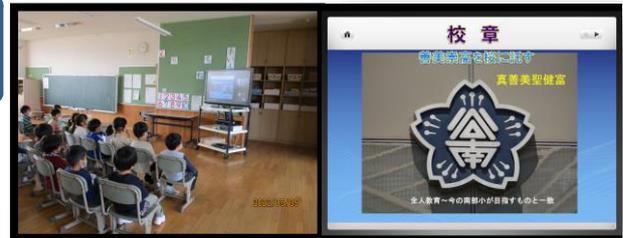
キーワード 「一步踏み出す力」「チーム力」「考え抜く力」

新緑の輝く季節となりました。日頃より南部小の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。1学期がスタートして2ヶ月が過ぎようとしています。まだまだコロナ禍ではありますが、皆様の温かい励ましのおかげで、子どもたちは落ち着いて過ごしております。今後ともよろしくお祈りいたします。

## 創立記念式 (オンライン) PTA 会長より

前略～私も南部小学校の卒業生です。私が小学生の頃、身長は学年で1番低く、整列すればいつも列の先頭で、6年間「前ならえ」をしたことがありませんでした。3年生までは、体が弱くて学校を休みがちで、クラスの誰よりも運動ができませんでした。それが原因で、学校に行くのが嫌だとも思いました。ある時、担任の先生から、「人よりも背が低いのも運動ができないのも自分。それを人と比べて悔しい気持ちになることもあるかもしれないけれど、算数や図工が得意な自分もいるよね。外見や苦手なところでよくよするより、できることを頑張ればいいんだよ。」と言われました。その時、「自分にできることを自分らしくやればいいんだ」と思えるようになりました。今でも、色々なことに迷った時は、担任の先生の言葉を思い出します。今年の南部小学校の教育目標に、「未来をひらき、しなやかに生きる力を育む教育」とあります。「しなやか」とは柔軟で流れに逆らわないけれど、自分らしさをしっかり持っているという意味です。変化の激しい時代を生き抜く上で素晴らしい目標だと思います。

皆さんも「自分らしさ」を大切にしてください。そして、友達の友達らしいところを見つけ、お互いを認め合ってください。それは、きっと学級の力になり、南部小学校全体の力になるはずですよ。PTA 会長 布川



## 初代榎校長・伝統の自由教育 ～令和型の学校教育へ 校長講話

前略～校章には善美崇高を桜に託して、自主独立の意味が入っているそうです。自立して社会を生き抜く、今年の南部小の学校教育目標にもあてはまります。

初代の榎校長先生が、100年以上前にその当時新しい「自由教育」をこの南部小で実践されたということを知り、今みなさんがやっていることに通ずることに驚きました。当時の時間割には、児童が自分たちで進める「自学・自習」という授業があったそうです。自分の目で物を見、調べ、確かめて学びを深め、好奇心を養成していく取り組みとして、自学室・自学文庫・自学の理科実験室などもあり、児童が自由に出入りして学習できる環境があったそうです。昨年度から、みなさんが取り組んできた「自分たちで進める授業」「SUW個人総合探究学習」「単元内自由進度学習」の取り組みととても似ていますね。～中略

そして愛校心。自分たちが今取り組んでいることに、誇りをもってほしいと思います。また、身近な人を思いやり、問題があっても、不満を表すのではなく、どうしたらうまくいくか一緒に考えて、お互い支え合っていくこと。そうした行動が、愛校心につながって、世の中の平和と一人一人の幸せに繋がっていくのだと、谷地南部小学校の歴史がみなさんを励ましてくれているように思います。校長 小山田 聡



学校運営協議会

一つなげよう 学校と地域 人とひと

青少年育成町民会議



5月11日、今年度第1回学校運営協議会が開催されました。学校経営方針について、社会人基礎力をベースにした南部小の子どもたちにつけたい「自ら考え判断し行動できる力」について、昨年同様に委員の皆様実際に授業と同じような演習を体験していただきながら行いました。その中で、清掃を例に、決められたことをしっかりできるのはよいが、普段他の場面でも自ら気づいてきれいにしようとする子どもにしたいなど、一歩踏み出し、自分で考えて判断する力に関連したご意見もいただきました。18日には南部地区青少年育成町民会議評議員会が行われました。あいさつを広げることのお話、中学生が旧担任への感謝を表す美談も。地域と学校が共につながり、南部小の子どもたちの成長をこれからも温かく支えていきたいと思ひます。

「一歩踏み出す力（主体性）」

「チーム力（協働・対話）」



## 児童会活動

創造～協働！

## 1年生を迎える会

「1年生を迎える会」を行いました。今年度も全員が体育館に集まることを避けて、オンラインで分かれて自己紹介したり、班単位で外遊びをしたりして過ごしました。児童会が中心となり、コロナ対策の中で1年生に喜んでもらうために、みんなが仲良くなるためにどうするか主体的に考え企画・実行しました。



「考え抜く力（解決・創造）」

本物から学ぶ



## 6年租税教室



税務署の方より、税金の授業をしていただきました。「外国の税金はどうなっているの？」「いいところは？」「日本は今のままでいいの？」後半は本質に迫る質問が子どもたちから。学んだことを活かし、比べて考える。これも深い学びですね。



## 学びのフィールドを広げて



【1年生「ぱるミート」】

【2年生「電車：スーパー体験」】

【3年生「奥の細道」】

【4年生「歴史探訪」】

学校の様子については、随時ホームページでもご覧いただけます。 <https://yachinanbu-kahoku.edumap.jp/>